

12 使徒の働き 4章 32-37 節

先回のところでは、解放された二人が仲間（クリスチャン=教会）の所に行き、残らず報告し、みんなで心を一つにして神に向かって声を上げて祈り、「大胆に御言葉を語らせてください」と求めると、集まっていた場所が揺れ動き、一同は聖霊に満たされ、神のみ言葉を大胆に語りだした、とありました。今回の箇所は、その後のクリスチャンたち（教会）の様子が描かれているところです。

1、今回の箇所によく似た内容が以前にも記されていました。（2章 43-47 節）

- ・その時の状況と今回の状況とで、共通するところと違うところなどがあれば挙げてみましょう。

2、あなたが「いいな」と思うところ（模範）に、どんなところがありますか？

3、あなたはこの初代教会のクリスチャンたちを見て、どういう模範に従いたいと思いますか？

4、ここに名だして、善行を行った人のことが記されています。（36.37）

- ・誰ですか？
- ・この人がした行為は、何のためだったと思いますか？
- ・この人は「人の評価」を得たくてした行為だったと思いますか？

※ここをしっかりとつかんでおきましょう。次のところで大変なことが起こります。

5、ここから神様（父、御子、御霊）はどのようなお方だと言えますか？